

連載コラム

～ コーチングコミュニケーションが人を育てる ～ <第26回>

「言葉の力は、やはり夢を叶える魔法です！」

皆さん、こんにちは☆(´▽`)ノユッキーです。

3月は旅立ちの季節ですね。

ご卒業のみなさまにおかれましては誠におめでとうございます。

卒業といえば、私は子供たちが書く卒業文集を読むことが好きです。

文集には子供たちの夢が溢れています！！

特に今年は娘が小学校を卒業するのでどんな作文が読めるのかワクワクしています。

以前「言葉の力はすごい！」という話をしましたが、

世界で活躍しているアスリートたちが小学6年生の時に書いた卒業文集を読むと、

まるで未来を予告しているかのような内容で驚きます。

例えばイチロー選手は「僕の夢は一流のプロ野球選手になることです」と

あっさり言い切っていますし、サッカーの本田圭佑選手は

「ワールドカップで有名になって外国から呼ばれてヨーロッパのセリエAに入団します。

そしてレギュラーになって10番で活躍します。一年間の給料は40億円はほしいです」

と書いています。予言の書としか思えません。

ゴルフの石川遼選手は「ぼくの将来の夢はプロゴルファーの世界一だけど、

世界一強くて、世界一好かれる選手になりたいです」と。

テニスの錦織圭選手も「夢は世界チャンピオンになることです」

と当たり前のように言い切っています。

我らが羽生結弦選手は少し他のスポーツ選手とは違っていました。

勝ちたい、としつつも「観客に感謝できる選手になる」という内容でした。

なんだか別格な感じがして感動しました。しかも今の羽生選手そのものですよねヽ(;▽;)ノ

言葉の力は本当にすごいです。

自分がそうになっている様子をありありと思い描いて、

そうになっている時の感情を味わって、そうなると思い込んで行動する。

おそらく彼らも6年生の時には「この子は言うことが大きいな～」となんて

周囲に思われていたかもしれません。

ちなみに日本人の8割がドリームキラー(夢を否定する人、応援しない人)、
なんて言われています。

今の世の中、情報がすぐに入る時代で、チャンスもつかみやすいはずなのに、
ドリームキラーが多いと言われる日本はある意味、夢を叶えにくい国なのかもしれません。
子供たちには夢を簡単に諦めないで自分の人生を信じて歩んで欲しいです。

さて言葉の力といえばもう一つ。

先日、陰陽師の末裔にあたる方とお会いして面白いお話を聞いてきました。

最近、どのコンビニに行ってもアルバイトのお兄さん(大学生)が、
華奢でかわいくて、声もなよなよとしているのです。

細身で中性的な感じといますか。男性フェロモン(死語?)を感じさせないのです。

そうしたら、陰陽師の末裔はこう言いました。

「最近の親は男の子にかわいい服を着させて、『かわいい!』と言って育てる。

だからみんな可愛く育ってしまって、口紅を塗ってみたいくなるのです」と(笑)。

男の子を育てるときは「頼りになるな〜。本当に助かったよ!ありがとう」

という声かけが大事なのだそうです。

逆に女の子には「思いやりがあるね、気配りありがとう」などがいいそうです。

なるほど〜〜!!ですね。

「え?今頃知っても、もう手遅れ!」と後悔しているお母さん、大丈夫です。

言葉の力を信じて、まずは子どもたちを勇気づけ励ますような

あったか言葉をかけていきましょうね。

ではまた〜〜〜ヾ(*´▽`*)ノ

プロフィール

阿部 侑生 (あべ ゆき)

ドリームフィールド代表。

文部科学省認可(財)生涯学習開発財団認定プロフェッショナルコーチ。

フリーアナウンサーとしてミヤギテレビ「OH!バンデス」(95~04)等、レギュラー出演、
その後、ビジネスコーチとして独立。

「コミュニケーションスキルの向上」「自発的な部下の育成」

「子どものやる気を引き出すコーチング」「人生を変えるスマイルパワーについて」等を

テーマにしたコーチング研修、コミュニケーション研修講師として活動中。

経営者、起業家へのパーソナルコーチングも行っている。